

能楽囃子と新即興楽

～ 日本伝統音楽の可能性と、未来への地平 ～

第一部では、能楽囃子を取り上げます。能楽は室町時代、足利義満の庇護のもと、観阿弥・世阿弥父子によって現代の骨格が完成し、江戸時代には武士のたしなみとして広まりました。一見難しそうですがシンプルな構造であること等、お話と演奏を交え、その魅力をご紹介します。今回皆様にご覧の伝統音楽を知って頂く良い機会になると思います。

第二部では、西洋の音楽が日本に入って 150 年が経ち、今身近になった世界の音楽を、再び自由に遊び（アレンジ・即興）、その楽しさをお伝えします。

【出演者紹介】



栗林祐輔 笛(能管)
 笛方森田流
 1977年生 松田弘之 及び
 杉市和に師事



田中直子 ソプラノ
 東京芸術大学音楽学部声楽科卒業
 「自然を歌う」をテーマに活動中
 万葉集「東歌」を自作自演等



森貴史 小鼓
 小鼓方幸流
 1975年生 故住駒昭弘・亀井
 俊一・曾和正博に師事



武藤佳子 ピアノ
 武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業
 「鍵盤楽の宇宙」と題して活動中



大倉栄太郎 大鼓
 大鼓方大倉流
 1976年生 大倉七左衛門家
 十六代大倉三忠長男 父及
 び安福建雄に師事



田中潤 ピアノ
 犬懸坂祇園として「鎌倉音楽絵巻」、「横浜
 音楽絵巻」を作曲、CDをリリースする
 今年12月新作CD「鎌倉の譜」をリリース



大川典良 太鼓
 太鼓方金春流
 1973年生 金春惣右衛門
 に師事



シング・アロング コーラス
 鎌倉シバ-人材派遣センター有志のグループ
 鎌倉古楽祭 vol.5,7,8 に出演



音楽ひろば戸塚 アンサンブル
 楽器・楽譜を持ち寄ってアンサンブルを
 楽しむ会 戸塚の男女共同参画センタ
 ー横浜にて毎月一回開催中

佐野清彦 音楽芸術監督

第36回日本音楽コンクール作曲部門優勝 2008年細川周平、片山杜秀編集「日本の作曲家」において明治以後に功績を残した洋楽、邦楽、ポピュラーの作曲家・編曲家 1247 人に選出される



地球音楽圏

97年、鎌倉において任意団体として発足。99年、「地球環境文化の集い」を鎌倉中央公民館にて開催。00年、鎌倉NPOセンターに団体登録。02～09年、「鎌倉古楽祭 vol.1～8」を開催。vol.4では木村弓さんがゲスト出演。02年、「鎌倉音楽絵巻」を鎌倉生涯学習センターホールにて開催。03年、「高木東六の音楽世界」を関内ホール大ホールにて開催。04年、「観音音楽絵巻」を鎌倉長谷寺にて開催。観音像の前で、万葉集東歌や源実朝の和歌を歌曲として演奏、五大路子さんの語りの中世観音霊験譚等を演奏(左写真)。

